

私は「何をするか」だけでなく「どうやるのか」まで考える議員でありたい。

小柳よしふみは、この4年間で多くの政策課題に取り組み、成果をあげてきました。これからも皆さんの声を市政へ届け、より暮らしやすいさいたま市をつくります。

4年間まとめ 2 子どもたち のために…

実現! 高砂小学校教室の プレハブ校舎の新設 前進! 高砂小学校複合化 建替えプロジェクト

浦和駅周辺は人口急増地域であり、かねてより高砂小は教室不足が懸念されていたが、創立150周年を前にプレハブ校舎が新設された。(令和2年春供用開始)駅前の再開発事業やマンション建設が進む中、今後も教室不足が心配される。校舎の老朽化も進み、駅近という事もあり、複合化・建替えを検討する時期に来ており、府内プロジェクトチームが編成されて検討が始まっている。



4年間まとめ 3 防災対策 のために…

提案▶ 実現! 平成30年12月一般質問、令和元年度より

地震対策としての ブロック塀の改修補助制度

地震でブロック塀などが倒れると避難路がふさがれたり、救助の妨げになる。通学路や避難困難地区、火事の際の延焼リスクの高い地域での対策として期待する。大阪北部地震で小学生児童の犠牲が出て以来、全国で取り組みが進む中、本市では令和元年度から補助制度が創設された。

提案▶ 前進! まちづくり委員会など前任期から

藤右衛門川流域の浸水対策

本太・前地地区などでは、藤右衛門川の水害被害が続いている。対策が重ねられてきた。競馬場の入り口付近の河床の段差解消工事をさいたま市、埼玉県とも完了した。上流部の改修も終われば水の流れがよりスムーズになり、毎年約3000万円かかっている河床の土砂などを取り除く工事も不要になると見える。

子どもたち、子育て世代が輝くまちは、明るく活気のあるまちになります。子どもたちや頑張っている現役世代が、ますます幸せを感じる社会であるように。それが支えを必要としている方を支える社会の力にもつながると考えています。

提案▶ 前進! 令和4年9月 決算特別委員会 先生のいない教室をなくす! 臨時教員の待遇改善と補充対策

本市教員の5人に1人は臨時採用の教員であり、正規教員と同様にクラス担任等をしている。現状、病欠など教員の欠員をすぐに補充できない例もあり、優秀な臨時採用教員の確保のための待遇改善や、年度途中での欠員を見込んだ補充要員の採用など、先生がいない教室をつくらない対策は急務である。

提案▶ 実現! 令和2年9月、平成30年12月一般質問 保育の質の安定! 保育補助員・用務員配置の補助制度

保育士が保育士しかできない専門の仕事に専念できる環境を作り、保育の質の安定を図るために、保育補助員や用務員配置への補助制度を提案し、現在多くの保育所で採用されている。

提案▶ 実現! 令和2年9月 決算特別委員会 いじめ問題解消へ! 幹部教員向け研修制度

学校におけるいじめの問題の解決には、教員、特に幹部教員の初期段階での対応が重要となる。専門家による研修により、子ども、保護者ときちんと向き合い対応する力の向上を図ることが必要である。新任幹部教員から研修制度が開始された。



4年間まとめ 4 福祉・市民生活の充実 のために…

提案▶ 実現! 令和2年9月一般質問、令和4年度より 児童養護施設等の職員向けメンタルケアと 資質向上の研修

児童養護施設や自立支援施設には、複雑な事情を持った子どもたちが多く、対応も時代の変化とともに難しくなっている。これまで手薄であった民間児童養護・自立支援施設等の職員のメンタルケアや、研修による資質の向上に取り組むことになった。

4年間まとめ 4 福祉・市民生活の充実 のために…

提案▶ 実現! 令和2年9月一般質問、令和4年度より実施 高齢者や障害者、子ども向けの 高度歯科治療施設の新設

要介護高齢者や障害者など、一般の歯科では治療が困難な方が利用する埼玉県歯科口腔保健センターでは、治療に数か月待ちの状況が続いている。この度、与野保健センター跡地に新設する方針が示され動き出す。暴れたりして一般歯科では治療が困難な子どもの治療等も可能になる。歯科医師会のご協力を頂きながら早期の事業完成が望まれる。



提案▶ 前進! 令和4年9月 一般質問

高齢者や障害者、子ども向けの 高度歯科治療施設の新設

要介護高齢者や障害者など、一般の歯科では治療が困難な方が利用する埼玉県歯科口腔保健センターでは、治療に数か月待ちの状況が続いている。この度、与野保健センター跡地に新設する方針が示され動き出す。暴れたりして一般歯科では治療が困難な子どもの治療等も可能になる。歯科医師会のご協力を頂きながら早期の事業完成が望まれる。

提案▶ 一部実現! 令和2年9月一般質問

学校テニスコートの市民利用を進める



市内公立中高校にある約50面のテニスコートは、朝夕の部活動などの時間以外はほぼ空いている。セキュリティや利用マナーの課題はあるが、空いている時間を市民に開放するだけで、予約が取れない市民のプレー環境が各段に良くなる。今回、開放を進める旨の答弁があり、数校の学校の了解が得られている。必要な改修などを行った上で、学校施設をもっと有効活用し、例えば子どもの居場所づくりや会合の場所など、より多くの市民の幸せに貢献する取り組みもできると考える。

4年間まとめ 5 地域の活性化 のために…

提案▶ 実現! 令和元年度6月まちづくり委員会他 実現!

浦和駅周辺 まちづくりビジョンの策定

東日本大震災やコロナ禍を経て、社会情勢も大きく変化し、まちづくりに対する市民の考え方も変わった。将来像を持たないまちづくりは行き当たりばったりになるとずっと訴えてきた。アフターコロナのまちの将来像を、市民・民間事業者・行政で共有することが、今後のまちの発展につながると考える。令和4年度末にビジョンが発表となる。

前進! 前任期から

浦和駅西口南高砂地区 再開発事業の推進 市民会館うらわの移転

構想段階から年月が経ったが、地権者の合意や事業者のご協力により事業が進行し、解体作業等が進んでいる。市民会館うらわの移転関連費用も令和5年度当初予算にて計上され、本格的に事業が進捗する。今後決まってくる商業テナントの魅力も重要である。竣工予定は、令和8年6月である。

将来に渡る地域の活性化のためには、しっかりとまちづくりの方針とその着実な進捗が重要である。アフターコロナのまちの将来像を描いていく重要な時期です。

実現!

「浦和区文化の小径ぶらり 散歩案内板」設置

ボランティアガイドのご協力による「浦和区文化の小径」ツアーノマップの案内板が浦和東口ターミナルクラブ、浦和駅と浦和区とのコラボ企画により浦和駅西口駅前に設置された。歩かなければ気が付かない地域の魅力が理解できる。



本庁舎の跡地は、防災機能を備えた 文教都市の象徴となる施設を!

令和4年4月の臨時議会において、2030年の移転を目指してさいたま新都心への本庁舎移転が議決された。3市合併時の合併協定書に端を発した、足掛け約20年の議論に一定の結論が出た。ただし、本庁舎の移転の際にどの地域でも問題となるのが、移転元のまちづくりをしっかりやらないと地域間対立につながるという事である。浦和のまちの将来ビジョンをしっかり共有し、浦和の成長発展が期待できる支援体制が不可欠となる。この点が確保されない場合には、実際に移転する際の予算の執行停止などということも考えられる。また、今後重要なのが本庁舎

の跡地利用である。私は、地域からの要望もある防災機能を備えた文教都市の象徴となる施設であるべきと考える。例えば、海外の一流大学の日本校などであれば、地域教育への貢献や教育産業の誘導、また若い世代が毎年流入するなど、地域活性化に効果が期待できる。また、学校であれば、災害時の拠点スペースや地域のコミュニティスペースとしての利用なども期待できる。民間のノウハウと資金を活用しながら、財政負担を抑えた整備を進める事も重要である。ビジネスを大きなチャンスに変えることが、地元議員の果たす役割と認識し、活動を続けている。

活性化提案1 駒場競技場エリアのスポーツ施設再編による活性化

平成30年12月一般質問 提案

提案▶ 前進!

駒場競技場周辺は、駒場公園内にサッカー競技場、サブグラウンド、相撲場、駒場体育館やテニスコート、市民プールなどスポーツ施設が集積している。それを都市局、市民局、教育委員会など、総合的にパラパラに管理修繕などを行っており、効率が悪い。日通さんの野球施設が隣接することも含めて、スポーツ施設の集積拠点として民間力も活用した全体ビジョンを持った上で、効率的な再整備、管理・運営をすることで市民スポーツと緑の環境を良くし、浦和駅・北浦和駅東口の賑わい創出につなげる。浦和駅周辺まちづくりビジョンの重点プロジェクトの1つとして、令和5年度以降の検討項目になる。

活性化提案2 北浦和インフォメーションセンターの改革

令和3年9月一般質問 提案

提案▶ 検討

北浦和駅東口徒歩1分にある北浦和インフォメーションセンター(旧レッズスクエア)は、商店街の入り口にありながら、夕方からの時間や週末には閉まっている。イベント広場や上層階に市民利用スペースを確保するなどの条件付きで、民間提案も含めた建替え・利活用を検討すべきと考える。自治会館などコミュニティ施設不足の解消や魅力的なお店が入れば、集客にもつながる。

